

# 一橋だより



令和8年1月13日

小平市立小平第四中学校（拠点校）

特別支援教室「一橋」No.9

新年を迎えました。保護者の皆様におかれましては日頃より一橋教室の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。皆様、冬休みはいかがお過ごしだったでしょうか。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、短い3学期ではありますが、学校生活1年間のまとめを行う大切な学期となります。日々を大切にしながら、一人ひとりが安心して学校生活を送れるよう支援してまいります。一橋教室の授業は1月13日（火）より開始いたします。本年もよろしくお願いいたします。

## ～卒業生のお話～

昨年のことになりますが、小平市教育長の青木先生（以前、小平第五中学校の校長先生をされていました。）にお会いした際「卒業生のTさんに声をかけられ、一橋の先生に大変お世話になったと話していましたよ」とのお話を伺いました。Tさんは三年前、調理師免許と高校卒業資格を取得できる高校へ進学しました。中学生の頃はさまざまな事情から登校が難しい時期もありましたが一橋教室の学習には前向きに取り組んでいました。その後の様子を案じておりましたが、高校生活を楽しみながら、パン屋でのアルバイトにも取り組んでいるとのことでした。そしてこの春、高校を卒業し、食育に関心を深め、専門学校への進学が決まっているそうです。卒業後も自分の道を歩んでいる姿を知り、大変嬉しく思いました。今後も、子どもたち一人ひとりの成長を大切に支援してまいります。

## ～教材紹介～

### ① 折り紙

折り紙は「形や位置を把握する力（空間把握）」や「指先を細かく使う力（巧緻性）」また「手順を覚えて取り組む力」など、さまざまな力を同時に育てる活動であると言われています。加えて、完成したときの達成感や、友だちと協力して取り組むことで、気持ちの安定や人間関係づくりにもつながります。一橋教室では、こうした効果を大切にしながら、定期的に取り入れています。



### ② 対話型のICTツール（AI）

生徒の学びを支える学習補助として、対話型のICTツールであるGemini（ジェミニ）やChatGPT（チャットジーピーティ）を活用しています。これらは質問すると文章で答えてくれる仕組みで、分からない言葉をやさしく説明したり、考えを整理したりする手助けをします。使用にあたっては、必ず教員が内容を確認しながら行い、特別な操作は必要ありません。人との関わりを大切にしつつ、安心して学習に取り組むための補助的なツールとして活用しています。

#### 【連絡先】拠点校

小平市立小平第四中学校 特別支援教室 一橋

TEL 042-346-3286（直通）

Mail hitotsubashi@34.kodaira.ed.jp

